

調布駅前広場整備に関する参考資料

- ・ 調布駅前広場事業における「検討項目」の検討状況について
- ・ イベント空間の利用について
- ・ 自転車の通行について
- ・ コミュニティゾーン(憩い空間)の整備について

調布駅前広場事業における「検討項目」の検討状況について

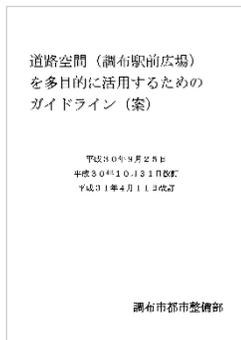
検討項目		検討内容	これまでの特別委員会等での報告内容	今回の報告内容
ゾーニング		—	—	—
歩行者動線		—	—	—
誘導用ブロックの配置		誘導用ブロックの具体的な枚数や敷設の詳細位置等	今後も障害者団体等と定期的に意見交換やまちあるきを実施	—
イベント空間		水道や電気など地下埋設物の設置や利用ルール等	兼用工作物協定による管理を検討するとともに、利用内容の拡大範囲を検討するための社会実験を実施	イベント空間の実施主体及び利用内容の拡大等について検討するため、社会実験として市内事業者単独でのイベントが開催された
自転車の通行		歩行者と自転車の共存ができるようなルールづくり	自転車通行ルールの効果的な啓発方法についての社会実験を実施	自転車通行ルールの効果的な啓発方法について検討するための社会実験として、声掛けを実施した
上屋の設置		—	—	—
ゾ コ ミ ュ ニ テ ィ の 整 備	うるおい空間 (ミストの設置等)	どの世代もうるおいを感じ、暑さ対策にもつながる空間づくりのための具体的な設え	社会実験等の結果を踏まえ、オブジェからミストを噴射する設えを検討	—
	憩い空間	—	木製ベンチの設置を主軸に検討	これまでに実施したアンケート調査等の結果を踏まえ、ベンチの配置図を作成した
情報発信機能の確保		使用する機器や提供する情報の内容等	デジタルサイネージ等を活用して情報発信機能を確保	—
トイレの設置		具体的な設置箇所や仕様等	現在の暫定トイレ付近に新設	—
マンホールトイレの設置		具体的な設置箇所や設置基数等	想定条件等の再検討を踏まえ、一時避難としての災害対応簡易トイレにて代用	—
樹木配置		グリーンホール前の配置	樹木配置及び樹種は整備計画図で決定、植え込み地や位置等について今後調整	—

イベント空間の利用に関するこれまでの検討の経緯

■ 現在のイベント空間の運用について



行政、市民、団体等が一体となって取り組むイベントに対しては、ガイドラインに基づき、通常の道路占有よりも弾力的に占有を認めている。



『道路空間(調布駅前広場)を多目的に活用するためのガイドライン(案)』▶

■ 現在の運用に対する市民からのニーズ

利用者・利用内容の拡大

利用できるのは市などの行政機関、及び市等が共催、後援するイベント等に限定されている

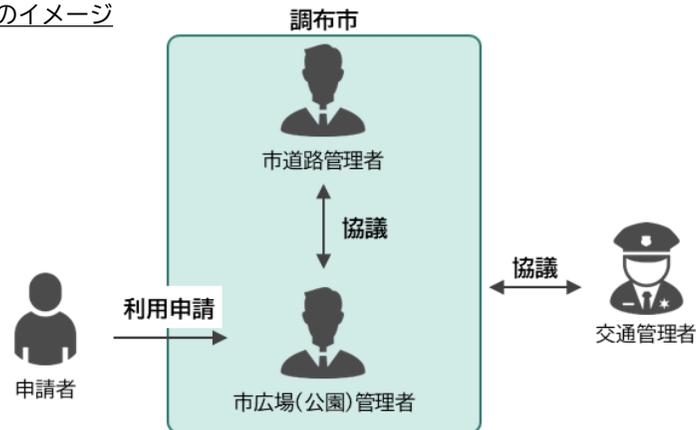
手続の簡素化

イベントの利用に当たっては、市と警察の2者に申請が必要となっている

これら2つのニーズを踏まえた運用方法の検討が必要

■ 兼用工作物による管理の検討

手続のイメージ



利点

- ・ イベントの利用内容等が拡大される
- ・ 利用手続が簡素化される(手続が市に対する利用申請のみ)

課題

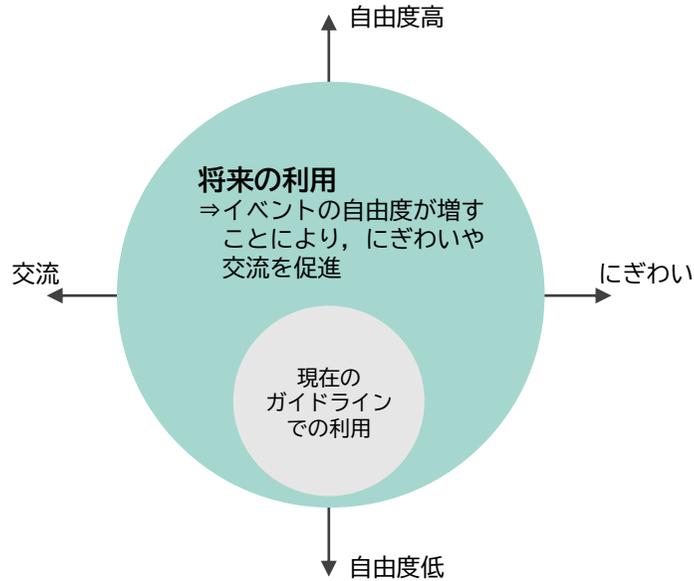
- ・ 交通管理者と交通上の安全確保について、協議・調整が必要

検討が必要な項目

- (1) 利用内容等をどこまで拡大するのか
市としてどこまでの規模のイベントを許可していくのかを検討する必要がある
⇒社会実験等を実施しながら検討
- (2) どの枠組みで管理を行うのか
道路 かつ 広場 …広場条例等の整備が必要
道路 かつ 都市公園 …調布市都市公園条例等の再検討が必要

利用内容を拡大するに当たっての課題

■ 広場完成後のイベント空間利用のイメージ



『整備計画図』におけるイベントゾーンの考え方

…ハレの場として、賑わいや交流を創出する空間



無制限に拡大させると周辺住民の不利益となる恐れがある

ex) 音量, におい, ごみ, 歩行動線, 営利行為



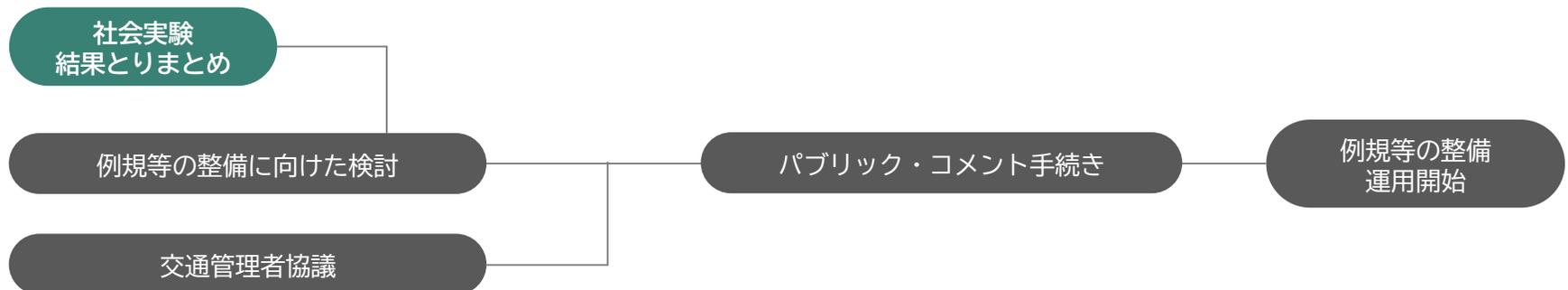
拡大の範囲を市の例規等で制限する必要がある

ex) ホワイトリスト方式(できることを市から設定)
ブラックリスト方式(禁止行為を条例で指定)



利用に係る例規整備に向けた各種検討が必要

■ 運用開始に向けた検討の流れ



市内事業者に対するアンケート調査の実施結果

■ アンケート概要

01 目的

駅周辺の商店会等に対し、将来イベント空間を利用したいという意向があるか、また、実施してみたいイベントについてアンケート形式にて意見聴取を行った。

02 アンケート実施期間

令和4年3月4日(金)～令和4年3月18日(金)

03 アンケート送付先

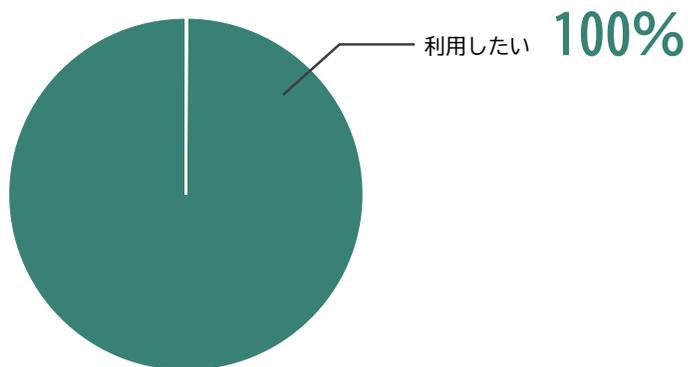
エキモリの会(うち8団体が回答)

上布田商栄会
調布銀座商栄会協同組合
小島商栄会
調布中央商店会
天神通り商店会

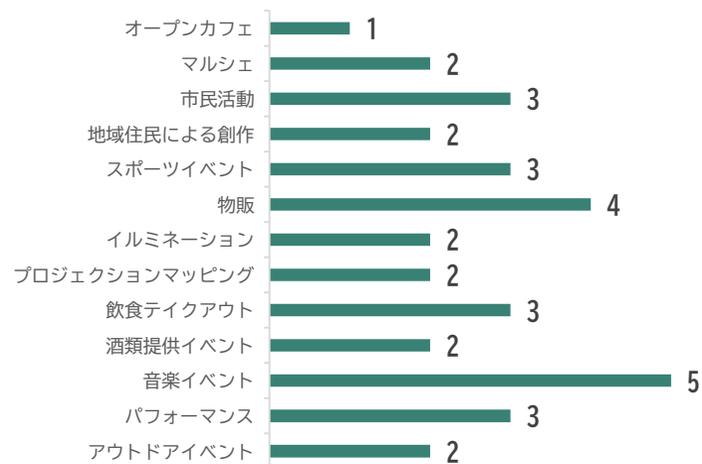
パルコ調布店
トリエ京王調布
シアタス調布
調布市商工会事務局
調布市商工会コンサルタント
調布市文化・コミュニティ振興財団

■ アンケート結果

問 今後イベント空間を利用したいという意向はあるか



問 今後やってみたいイベント

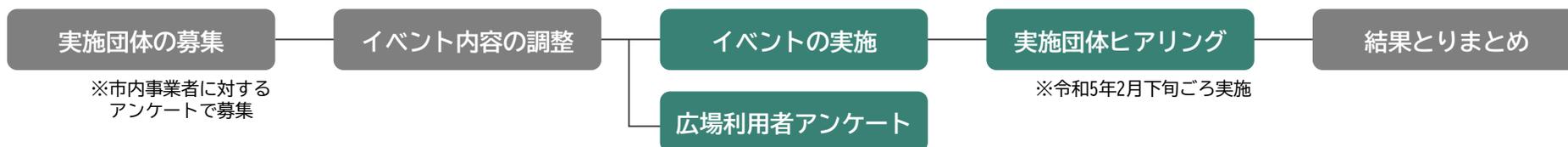


イベント空間の利用に向けた社会実験の実施結果

■ 社会実験の概要

- 令和4年度はイベント空間の利用主体及び利用内容の拡大等について検討するため、社会実験として市内事業者単独でのイベントが開催された。
- 実験に併せて、参加者、歩行者、滞留者等全ての広場利用者を対象としたアンケート調査を実施した。

【実施の流れ】



■ 開催されたイベントの概要

チョウフローカルマーケット（パルコ調布店）

開催日 : 令和4年9月17日(土)

アンケート回収件数：68件

[現在の運用から拡大した内容]

販売行為の許可

路上に占有物(人工芝マット)の設置



▲ 当日の様子

結ぶミュージックパーク（トリエ京王調布）

開催日 : 令和4年10月22日(土)～23日(日)

アンケート回収件数：126件 (22日：76件, 23日：50件)

[現在の運用から拡大した内容]

販売行為の許可

大音量の楽器等を使用すること

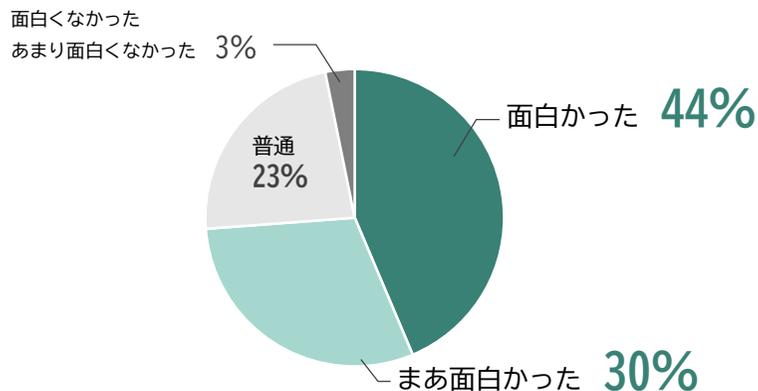


▲ 当日の様子

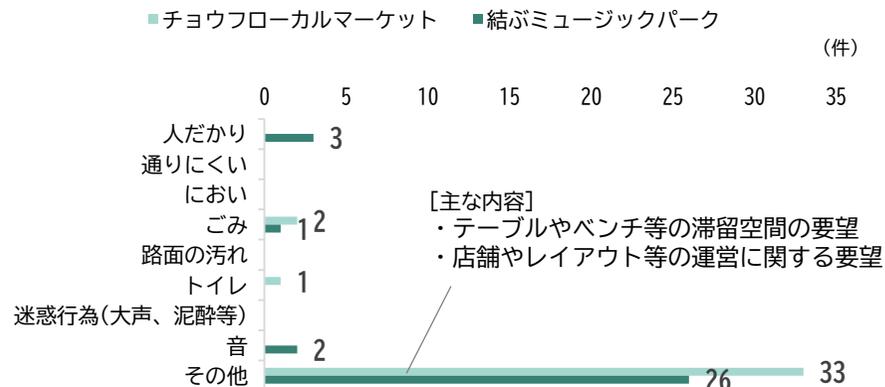
イベント空間の利用に向けた社会実験の広場利用者アンケート調査結果

- イベントの開催に合わせて、参加者・歩行者・滞留者等の全ての広場利用者を対象に、イベントに関するアンケート調査を実施した。
- 結果として、イベントに対する満足度は高く、懸念していた人だかりやごみといった問題に対する不満については数件程度であった。また、市内・市外事業者問わず、イベント空間の活用が望まれている。

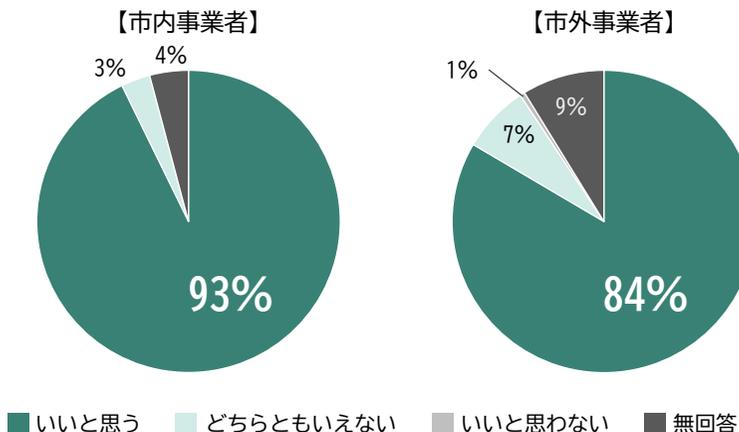
問 イベントに対する満足度



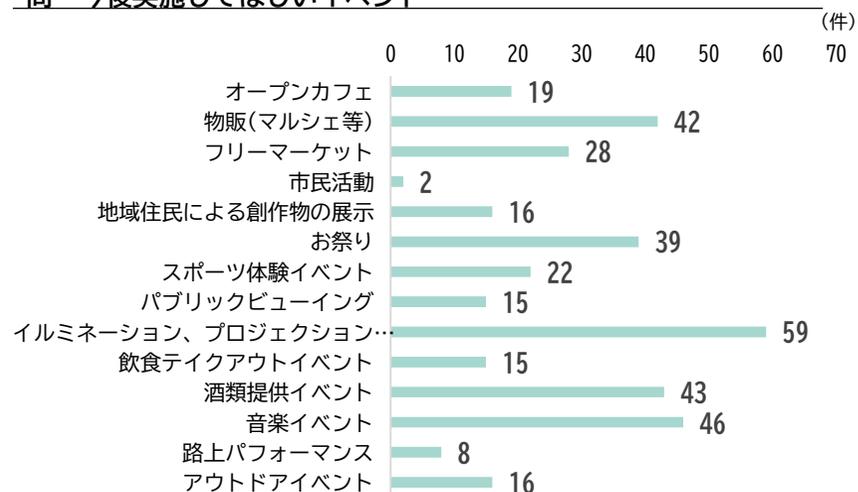
問 イベントを通して気になった点



問 市内(市外)事業者が、イベント空間を活用することについて



問 今後実施してほしいイベント



自転車の通行に関するこれまでの検討の経緯

■ 現在の自転車通行における現状と課題

現状

全般

- ・ 自転車の乗り入れを禁止すべきとのご意見が一定数ある
- ・ 子どもを乗せての押し歩きは大変なので通行を認めてほしいといったご意見もある

東西方向

- ・ 京王線地下化前は東西方向の通行が可能だったため、現在も往来が多く見られる
- ・ 駅出入口から南方向に向かう歩行者との交錯が懸念される

南北方向

- ・ 南北の動線は、京王線地下化後に生まれた動線である
- ・ 東西方向の歩行者との交錯が懸念される。また、北側の商業ビル前の空間では歩行者と自転車が錯綜する

課題

調布駅前広場独自のルール等による自転車通行の制限が必要

ハード面での対応

- [例]
- ・ 自転車通行空間を設ける

ソフト面での対応

- [例]
- ・ 広場独自の自転車通行ルールを設ける
 - ・ 啓発活動(声掛け等)を行う

■ ハード面での対応(自転車通行空間)の検討

[特徴]

- ・ 東西方向の自転車の通行については、歩行者と動線を分けることができる

[問題点]

- ・ 南北方向の歩行者との交錯
- ・ 歩行者との衝突の可能性
- ・ 自転車の通行量の増加
- ・ 自転車の平均速度の増加



多くの歩行者が日常的に利用する調布駅前広場の性質上、原則として自転車は広場内で走行すべきではない

自転車の走行を促すような通行空間を設置することは難しい

■ ソフト面での対応(自転車通行ルール)の設定)の検討

調布駅前広場は道路法上の歩道であることを踏まえ、以下の内容を基本に自転車の通行を制限することを検討していく。

① 調布駅前広場独自の自転車通行ルールの設定

[原則] 広場内は自転車は押し歩き

[例外] 押し歩きが難しい場合は徐行のうえ通行可能

- 例： ・ 高齢者
・ 子ども
・ 障害のある方 等

② ルールを利用者に周知するための啓発活動を実施

▶ 効果的な手法について、社会実験を実施しながら検討

自転車通行ルールの啓発に関する検討

■ 啓発の手法の整理

サインスタンドの設置 (令和3年度に実施)



声掛けの実施



音声案内装置による呼びかけ



メリット

・ 直接利用者の視覚に訴えられる

・ 直接啓発ができる
・ 通行の抑止につながる

・ 常時利用者に対して啓発ができる

デメリット

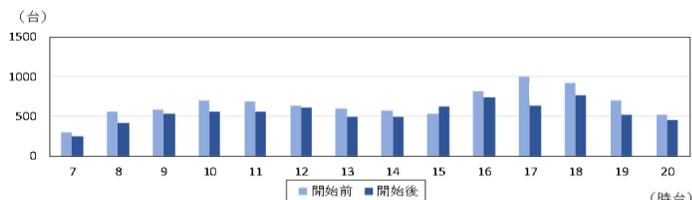
・ 長期間設置することによる効果減少

・ 声掛けによるトラブルの発生が懸念される

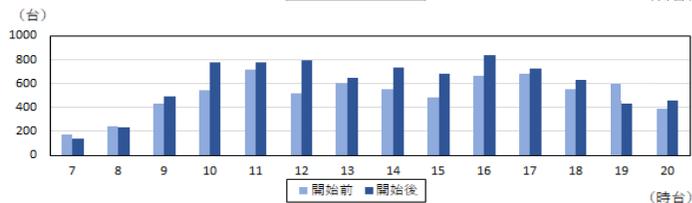
・ 広場滞留者が不快に感じる恐れがある
・ 騒音にならないよう、近隣との調整が必要

■ 令和3年度の社会実験(サインスタンドの設置)を踏まえた現在の広場の自転車通行における課題

[平日]



[休日]



分析

- ・ 平日休日のどちらも、夕方に通行量のピークがある
- ・ 日中(10時~18時ごろ)は、常に500台/時間以上が通行している
- ・ サインスタンドの設置は一定の効果があるものの、よりそのまま通行する利用者を減らす必要がある

他の手法についても試験的に実施し、効果的な手法の組み合わせを検討する必要がある

⇒ ①声掛けの実施 と ②音声案内装置による呼びかけの社会実験を実施

▲ サインスタンド設置前後での、「そのまま」通行する利用者数

自転車通行ルールの啓発に関する社会実験について(1)

- 自転車通行ルールの効果的な啓発方法について検討するため、広場の自転車利用者に対し「①声掛けの実施」と「②音声案内装置による呼びかけ」を社会実験として実施する。
- 併せて利用実態調査を実施し、それぞれの手法についての効果を確認する。

① 声掛けの実施(実施済)

時期 令和4年10月31日(月曜日)から令和4年11月10日(木曜日)
※令和4年11月1日(火曜日)は荒天により中止

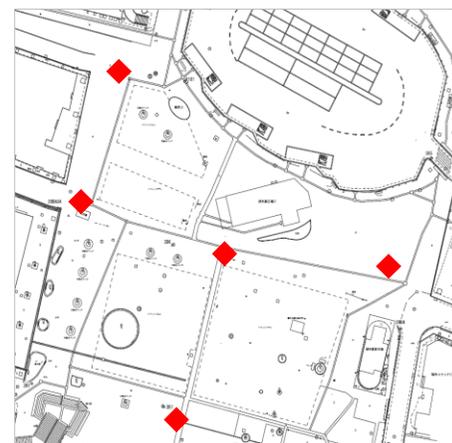
時間 令和4年10月31日～令和4年11月 3日 …16:00-18:00
令和4年11月 4日～令和4年11月 6日 …10:00-12:00
令和4年11月 7日～令和4年11月10日 …15:00-17:00

場所 調布駅前広場
(右図「人員配置図」のとおり人員を配置)

内容 駅前広場を自転車で走行する利用者へ声掛けをし、自転車通行ルールの内容について直接周知を行った。
また、併せてポケットティッシュを配布した。



▲ 実施の様子



▲ 人員配置図

② 音声案内装置による呼びかけ

時期 令和5年4月以降
※ もともと令和4年度中の実施を予定していたが、昨今の社会情勢に伴う半導体不足の影響により機器の入荷に時間を要するため、開始時期を令和5年度以降に延期する。

時間 [平日] 7:00～19:00
[休日] 9:00～19:00

概要

- 自転車は押し歩きをするよう、音声で周知する
- 自転車利用者に聞いてもらうための工夫として、アニメ『ゲゲゲの鬼太郎』のキャラクター音声を活用した呼びかけを行う。

[登場キャラクター(案)]

- 鬼太郎
- ねこ娘
- 犬山まな

[呼びかけのイメージ(案)]

- ショートバージョン(10秒程度)
キャラクターが押し歩きを呼びかけ
- ロングバージョン(30～40秒程度)
キャラクター同士の掛け合いで
自転車通行ルートを周知

自転車通行ルールの啓発に関する社会実験について(2)

■ 利用実態調査の実施について

【実施日】

各社会実験の実施前と実施中、実施後の各期間の平日・休日の各1日間ずつ
※晴れの日に実施する

【時間】

7:00～21:00

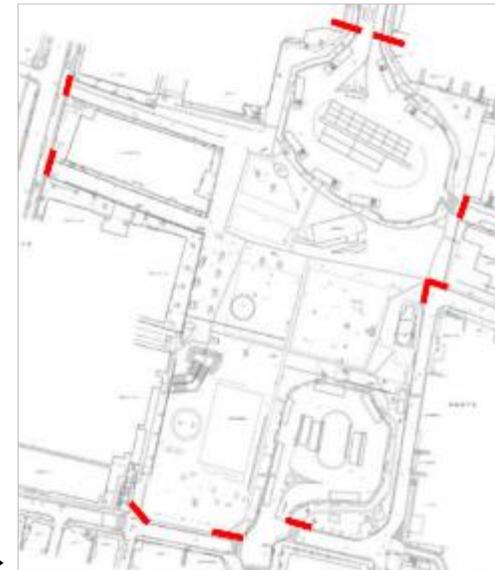
【調査断面】

右図「調査断面図」赤着色部(計9断面)

【調査内容】

各調査断面において、1時間ごとに以下の項目を観測する。

- (1) 流入・流出台数
- (2) 年齢階層
13歳未満 / 13～69歳 / 子どもが同乗している13～69歳 / 70歳以上
- (3) 通行の実態
そのまま通行している / 減速して通行している / 押し歩きをしている



調査断面図 ▶

■ 取組スケジュール

声掛けの実施

音声案内装置による呼びかけ

調査(実施前)

[平日]令和4年9月26日(月)
[休日]令和4年9月25日(日)

調査(実施中)

[平日]令和4年11月2日(水)
[休日]令和4年11月3日(木・祝)

調査(実施後)

[平日]令和4年11月25日(金)
[休日]令和4年12月11日(日)

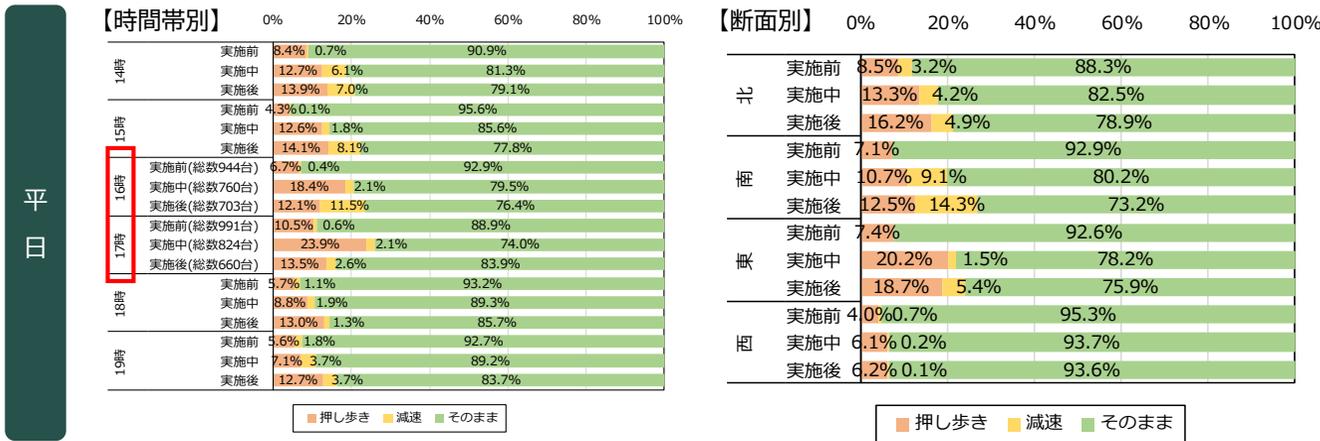
調査(実施中)



自転車利用実態調査(声掛けの実施)の結果について

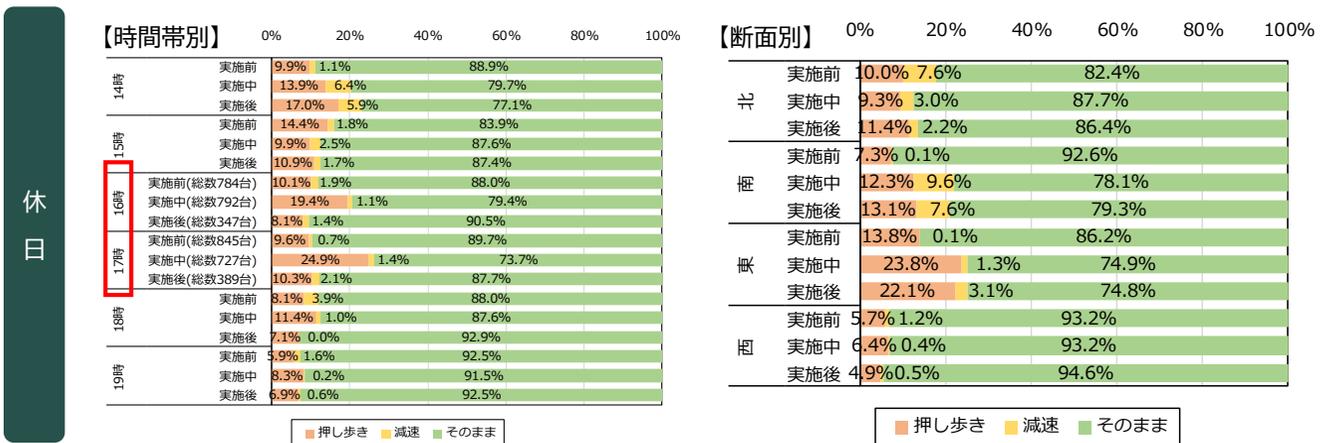
- 社会実験(声掛けの実施)の実施前・実施中・実施後において、自転車利用実態調査を実施した。
- 声掛けの実施中は、自転車に乗ったまま減速せず減速せず通行する割合が減少し、押し歩きや減速をする割合が増加した。
- 実施中は約10件ほど問合せやご意見があったものの、声掛けによる利用者とのトラブル等は発生しなかった。
- 実施後は、平日は効果がある程度持続していたものの、休日は実施前と同程度まで戻っていた。

■ 自転車利用実態調査の結果



- 声掛け実施中(16~17時)は、自転車に乗ったまま減速せず通行する割合が実施前より13%以上減少した。
- 南や東の断面では実施中の自転車に乗ったまま減速せず通行する割合が12%以上減少した。
- どの断面でも実施後の自転車に乗ったまま減速せず通行する割合は実施中よりも減少した。

※実施前(9/25・日) / 実施中(11/3・祝) / 実施後(12/11・日)



- 声掛け実施中(16~17時)は、自転車に乗ったまま減速せず通行する割合が実施前より8%以上減少した。
- 南や東の断面では、自転車に乗ったまま減速せず通行する割合が11%以上減少した。
- 北や西の断面において、実施前後で利用実態に大きな変化はなかった。

※実施前(9/26・月) / 実施中(11/2・火) / 実施後(11/25・金)

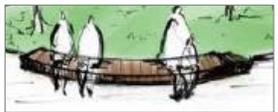
調布駅前広場における休憩施設配置図



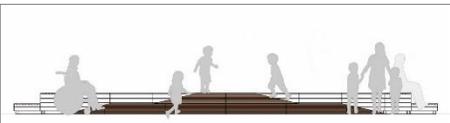
ベンチ①
駅前のバス乗り場周囲に配置する。京王線沿線の他の駅前のバス乗り場に設置した休憩施設仕様との統一性を図る。



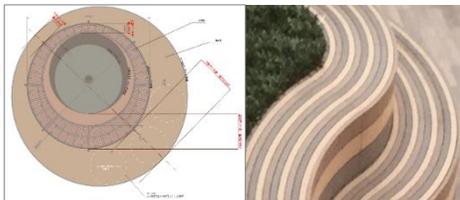
ベンチ②：背もたれなしベンチ
憩いのスペースとして1~2人程度の少人数が利用できる。



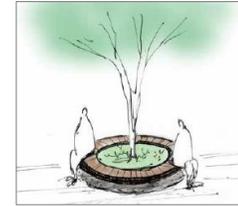
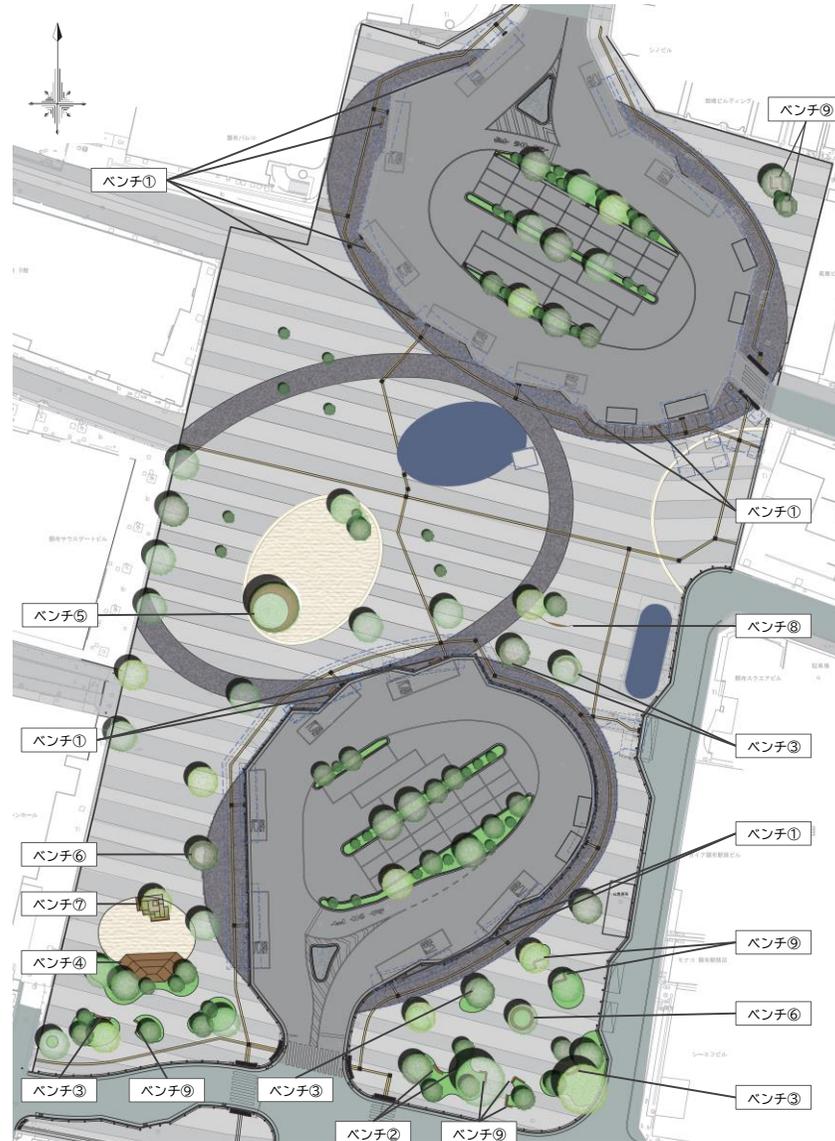
ベンチ③：サークルベンチ
樹木の周囲に配置し、みどりを楽しみながら休憩することができ、複数の人が利用できる。



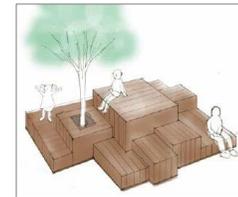
ベンチ④：スロープ・段状ベンチ
子どもが高低差やスロープを楽しみ、親子で休憩することができる。多人数が滞在可能な複合型の休憩施設。車いす利用者にも配慮する。



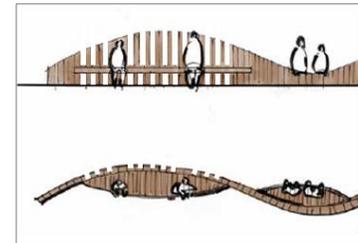
ベンチ⑤：2段サークルベンチ
大ケヤキのあるシンボリックな場所にオブジェを配置し、2段サークルベンチを設置することで、この空間を広場の顔にするとともに、イベントスペースの休憩施設として木陰の下で多人数が利用できる。



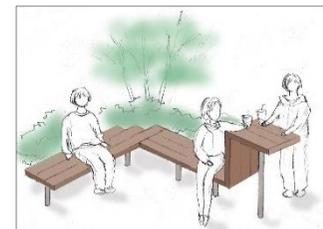
ベンチ⑥：サークルベンチ
既存のみどりを楽しみながら、多人数の利用ができる。



ベンチ⑦：段状ベンチ
子どもが高低差を楽しむことができ、多人数の滞在利用ができる複合型の休憩施設。



ベンチ⑧：ラインベンチ
調布駅の出入口に近く、歩行者が多い場所に、細長いラインの造形で通行利用への影響を抑える。S状の造形により、バスやイベントの様子を見るなど状況に合わせて座る向きを選択できる。



ベンチ⑨：スタンド付きベンチ
木立の密度の高い場所であり、木陰でゆっくりと休んだり、立ち話したりと、ちょっとした憩いが楽しめる施設。